

輸血部

著書

- 1) 熊倉俊一：感染症新法について．国立大学医学部附属病院感染対策協議会
編：病院感染対策ガイドライン第2版，国立大学医学部附属病院感染対策
協議会出版、名古屋，146-151，2003
- 2) 熊倉俊一：感染症新法について．国立大学医学部附属病院感染対策協議会
編：病院感染対策ガイドライン，じほう出版，東京，165-170，2004

学術論文

- 1) Kumakura S, Ishikura H, Maniwa Y, Munemasa S, Tsumura H, Masuda J, Kobayashi S: Activation of protein kinase C enhances TNF- α -induced differentiation by preventing apoptosis via rapid up-regulation of c-myc protein expression in HL-60 cells. *Leukemia and Lymphoma* 43: 497-503, 2003
- 2) 熊倉俊一，石倉浩人：自己免疫関連血球貪食症候群．炎症と免疫 11: 315-321 2003
- 3) Kumakura S, Kobayashi S: Autoimmune Neutropenia. (Editorial) *Internal Medicine* 42: 133-134. 2003
- 4) Aoyama K, Ishikura H, Tsumura H, Watanabe T, Suyama N, Kumakura S, Kobayashi S: Meningeal involvement of chronic myelomonocytic leukemia. *Journal of Neurology* 250: 993-994, 2003
- 5) Kumakura S, Ishikura H, Kobayashi S: Hemophagocytic syndrome, a possible association with aplastic anemia? *Internal Medicine* 42: 1262-1264, 2003
- 6) Kumakura S, Ishikura H, Tsumura H, Kobayashi S: Phagocytosis of terminally differentiated acute promyelocytic leukemia cells by marrow histiocytes during treatment with all-trans retinoic acid. *Leukemia and Lymphoma* 44: 2147-2150, 2003
- 7) 熊倉俊一，石倉浩人：リウマチ・膠原病に合併する重篤な血液疾患．臨床医 29: 2085-2088, 2003
- 8) 熊倉俊一，石倉浩人，村川洋子，小林祥泰：難治性病態の治療戦略-血球貪食症候群-. *内科* 93: 291-298, 2004
- 9) 熊倉俊一：血球貪食症候群(Hemophagocytic Syndrome). *島根医学検査* 32: 1-8,

2004

- 10) Kumakura S, Ishikura H, Kondo M, Murakawa Y, Masuda J, Kobayashi S:
Autoimmune-associated hemophagocytic syndrome.(Review Article) Modern
Rheumatology 14: 205-215, 2004
- 11) 城有美, 熊倉俊一, 石倉浩人, 小林祥泰: 胸骨痛を初発症状とした急性リン
パ性白血病の1例. 内科 94: 389-393, 2004
- 12) 熊倉俊一: 膠原病と血球貪食症候群. 日本集中治療医学会雑誌 11: 410-413,
2004
- 13) 熊倉俊一, 石倉浩人: 血球貪食症候群. 内科診療 Q&A 38: 264-267, 2004
- 14) 森木省治, 野畑亜希子, 柴田宏, 益田順一, 熊倉俊一: 同一患者の血液および
その他複数検体から検出された *Staphylococcus aureus* の臨床微生物学的お
よび分子生物学的同一性. 日本臨床微生物学会誌 14: 153-158, 2004
- 15) 津村弘人, 小黒浩明, 飯島献一, 卜蔵浩和, 山口修平, 小林祥泰, 熊倉俊一:
リスクファクターを伴わず再発性多発性脳梗塞を呈した高齢者例(誌上討
論). 内科専門医会誌 16: 96-98, 2004

学会発表

- 1) 川上耕史, 池田繭子, 本郷恵美, 角田佳子, 宗正昌三, 小林祥泰, 熊倉俊一,
石倉浩人, 高橋勉: 胸腺原発 MALT リンパ腫の一例. 第 31 回島根血液・凝固・
免疫症例検討会. 出雲, 2003 年 1 月
- 2) 本郷恵美, 池田繭子, 川上耕史, 角田佳子, 宗正昌三, 津村弘人, 小林祥泰,
熊倉俊一, 三島清司, 石倉浩人, 川内秀之: 多発性肺転移をきたした adenoid
cystic carcinoma に骨髄非破壊的同種造血幹細胞移植(ミニ移植)を施行した
一例. 第 11 回山陰造血幹細胞移植研究会. 出雲, 2003 年 2 月
- 3) 板垣亜希子, 森木省治, 陶山洋二, 柴田宏, 熊倉俊一, 益田順一: 血液培養か
ら検出された *S.aureus* の臨床細菌学的検討. 第 5 回島根院内感染対策研究会.
出雲, 2003 年 2 月
- 4) 高橋勉, 津村弘人, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人: 血球貪食症候群を合併し
たと思われる高齢者の 1 例. 第 88 回日本内科学会中国地方会. 出雲, 2003 年
2 月
- 5) 張燕, 森田栄伸, 出来尾哲, 熊倉俊一: IgA 型骨髄腫にみられた蕁麻疹様皮疹.
第 2 回日本皮膚科学会島根地方会. 出雲, 2003 年 2 月

- 6) 熊倉俊一：膠原病の難治性病態の早期診断と治療「血球貪食症候群」(シンポジウム). 第47回日本リウマチ学会学術集会 (第12回国際リウマチシンポジウム併催). 東京, 2003年4月
- 7) 三島清司, 熊倉俊一, 平田康司, 大熊重則, 直木恭子, 土岐博信, 益田順一：NaK^a抗体による新生児血小板減少症の1例. 第51回日本輸血学会総会. 北九州, 2003年5月
- 8) 熊倉俊一：膠原病の病態と治療. 膠原病交流会. 浜田, 2003年6月
- 9) 熊倉俊一, 石倉浩人, 津村弘人, 小林祥泰：骨髓低形成を呈する血球貪食症候群の検討. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
- 10) 石倉浩人, 津村弘人, 長井篤, 三島清司, 熊倉俊一, 佐藤幸恵, 金承業, 小林祥泰：ヒト不死化骨髓間質細胞株 BM10 の樹立と造血細胞増殖・分化支持能. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
- 11) 津村弘人, 本郷恵美, 川上耕史, 熊倉俊一, 小林祥泰, 石倉浩人：頸部 Diffuse large cell lymphoma で発症し、末期に Angiotropic lymphoma 様の浸潤経過を示した一剖検例. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
- 12) 高橋勉, 津村弘人, 熊倉俊一, 小林祥泰, 石倉浩人：血球減少症に対する *Helicobacter pylori* 除菌療法の成績. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
- 13) 熊倉俊一：トピックス・血球貪食症候群の病態と臨床像. 平成15年度中国地区形態部門（血液分野）技師研修会. 米子, 2003年9月
- 14) 森山英彦, 板垣亜希子, 陶山洋二, 森木省治, 柴田宏, 益田順一, 稲垣文子, 熊倉俊一, 石田かおり, 坂田哲朗, 玉川真澄：Web 院内感染監視システムの構築. 日本臨床検査自動化学会第35回大会. 横浜, 2003年9月
- 15) 角田佳子, 村川洋子, 熊倉俊一, 近藤正宏, 小林祥泰：血球貪食症候群を合併した成人スチル病の一例. 第14回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会. 米子, 2003年11月
- 16) 馬庭泰久, 津村弘人, 角田佳子, 小黒浩明, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人：Angiotrophic lymphoma の2例. 第27回島根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2003年11月

- 17) 熊倉俊一：新しい疾患概念：自己免疫関連血球貪食症候群～軌跡と展望～. 第 16 回島根大学医学部医師会学術講演会. 出雲, 2003 年 12 月
- 18) 本郷恵美, 津村弘人, 宗正昌三, 川上耕史, 角田佳子, 馬庭泰久, 熊倉俊一, 小林祥泰, 石倉浩人：多発性肺転移をきたした腺様嚢胞癌にミニ移植を施行した一例. 第 26 回日本造血細胞移植学会総会. 横浜, 2003 年 12 月
- 19) 角田佳子, 津村弘人, 宗正昌三, 川上耕史, 本郷恵美, 池田繭子, 馬庭泰久, 熊倉俊一, 石倉浩人, 小林祥泰：難治性急性骨髄性白血病(M2)にミニ移植を施行した一例. 第 26 回日本造血細胞移植学会総会. 横浜, 2003 年 12 月
- 20) 森木省治, 板垣亜希子, 柴田宏, 益田順一, 熊倉俊一：同一患者において血液とそれ以外の検体から検出された *P.aeruginosa* の臨床細菌学的および分子生物学的相同性. 第 15 回日本臨床微生物学学会総会. つくば, 2004 年 1 月
- 21) 馬庭泰久, 門脇秀和, 井上政弥, 津村弘人, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人：発熱・口腔内・下痢で発症し、診断・治療に苦慮している sIL-2R 血症の一例. 第 32 回島根血液・凝固・免疫症例検討会. 松江, 2004 年 1 月
- 22) 熊倉俊一：院内感染対策と ICT の活動. 大田市立病院院内感染防止対策講演会. 大田, 2004 年 1 月
- 23) 稲垣文子, 八國秀子, 熊倉俊一, 益田順一：島根大学医学部附属病院における ICN の活動. 第 6 回島根院内感染対策研究会. 松江, 2004 年 2 月
- 24) 板垣亜希子, 森木省治, 森山英彦, 柴田宏, 稲垣文子, 熊倉俊一, 益田順一：当院で経験したレジオネラ症の 1 例. 第 6 回島根院内感染対策研究会. 松江, 2004 年 2 月
- 25) 井上政弥, 津村弘人, 馬庭泰久, 熊倉俊一, 三上千恵, 三宅隆明, 田中順子, 加藤譲, 小林祥泰, 石倉浩人：当院における Rituximab の使用経験. 第 43 回日本血液学会中国・四国地方会. 出雲, 2004 年 3 月
- 26) 熊倉俊一, 馬庭泰久, 井上政弥, 津村弘人, 小林祥泰, 石倉浩人：巨大血小板症の 1 例. 第 43 回日本血液学会中国・四国地方会. 出雲, 2004 年 3 月
- 27) 津村弘人, 山口修平, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人：高齢者 Angiotrophic lymphoma の 2 剖検例. 第 101 回日本内科学会講演会. 東京, 2004 年 4 月
- 28) 津村弘人, 井上政弥, 馬庭泰久, 小黒浩明, 小林祥泰, 石倉浩人, 熊倉俊一：肺塞栓症を合併した Primary intracranial lymphoma の 1 剖検例. 第 90 回日本内科学会中国地方会. 倉敷, 2004 年 5 月
- 29) 熊倉俊一, 石倉浩人：自己免疫関連血球貪食症候群の治療戦略～自験例およ

び報告例よりの検討～. リンパ系樹状細胞系 3 学会合同学術京都大会. 京都, 2004 年 7 月

- 30) 有地直子, 米田達明, 浦上慎司, 岸浩史, 椎名浩昭, 井川幹夫, 井上政弥, 馬庭泰久, 津村弘人, 石倉弘人, 小林祥泰, 熊倉俊一: PBSCT 併用超大量化学療法が奏効した精巣腫瘍の 1 例. 第 9 回 PBSCT 研究会. 出雲, 2004 年 9 月
- 31) 馬庭泰久, 井上政弥, 津村弘人, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人: 骨髄線維症合併多発性骨髄腫に対し自家末梢血幹細胞移植術を施行した一例. 第 66 回日本血液学会総会、第 46 回日本臨床血液学会総会. 京都, 2004 年 9 月
- 32) 井上政弥, 馬庭泰久, 津村弘人, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人, 高橋勉: 当院における high risk 非ホジキンリンパ腫に対する PBSCT 併用大量化学療法の有用性. 第 66 回日本血液学会総会、第 46 回日本臨床血液学会総会. 京都, 2004 年 9 月
- 33) 三島清司, 熊倉俊一, 田中順子, 石倉浩人, 益田順一: MAP 輸血後に血小板減少と溶血をきたした 1 症例. 第 49 回日本輸血学会中国四国地方会. 徳島, 2004 年 10 月
- 34) 熊倉俊一, 近藤正宏, 村川洋子, 石倉浩人, 小林祥泰: リウマチが重症化しないために-EBM による治療を目指して-「ステロイド」(シンポジウム). 第 15 回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会. 岡山, 2004 年 11 月
- 35) 津村弘人, 井上政弥, 馬庭泰久, 小林祥泰, 熊倉俊一, 石倉浩人: Primary Effusion Lymphoma (PEL) の 1 例. 第 29 回島根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2004 年 11 月
- 36) 津村弘人, 井上政弥, 馬庭泰久, 小林祥泰, 石倉浩人, 熊倉俊一: Large granular lymphocytic leukemia NK-cell type の 1 例. 第 91 回日本内科学会中国地方会. 米子, 2004 年 11 月